

1年生グループの指導紹介



安住 ゆう子

小1プログラム*・中1ギャップ**という
ことばで言われるように、それぞれの節目は子
ども達にとって期待や希望もあるものの、不安
や緊張、環境の変化に対しての動揺が少なから
ずあります。フトゥーロの小学生の指導はタイ
プや指導の内容によって1~2年前後の学年の
混合があるグループもあり、それがよい効果を
産むことも多々ありますが、小学生1年生は、1
年生のみの編成にしています。その理由は、小
学校初めの1歩を丁寧に見てあげたいことによ
ります。

時間割のある生活、休み時間と言われる自由
遊びの時間の短さや園に比べて遊具の少なさ、
決まった席で座って過ごす時間の長さ、上級生
の巨大さ、給食時間の短さ……5月の後半に運
動会がある学校も増え1年生は息をつく暇もあ
りません。そんな1年生の指導プログラムは、
もちろん参加するお子さんのタイプによって割
合の違いはありますが、例年①スタディスキルの
習得 ②ソーシャルスキル能力の向上 ③基
礎学力の定着 を3本柱にして考えています。
以下に今年度の活動を中心に具体的な内容をご
紹介します。

①スタディスキルの習得

手順カード（マグネットカードにやること
が書いてあり、やり終わり1枚ずつ裏返すと最後
に1つの絵が完成するもの）を使いながら来て
からと帰る時の一連の準備や片づけを行って
います。4月に比べみんな素早くできるよう
なりましたが、一度に2つのことをするのはまだ
忘れてしまうこともあり（宿題を提出してから、
出席シールを取る）「行きは宿題、帰りはシ
ール」と言いながら練習しています。その他に
カードに日にちを書く、プリントを二穴ファ
イルから出し入れする、皆の中で指示を聞き取
る、聞きながら簡単なメモを取る、プリントを
配る等々、学校生活で必要とされるスキルを練
習します。

②ソーシャルスキル能力の向上

5月初めから日直活動を取り入れ、5つの仕
事を2人で分担する話し合いをしています。希
望を言う、譲る、何でもいい時は「なんでも
いいよ」と言うなど、9月の今では子どもだけ
で決められるようになりました。また、ゲームや
工作活動で相談、協力を経験しています。今年
の1学期には「ひっこしやさんが運んだ」と言
うダルマさんが転んだに似ている協力ゲームで
高得点をとるための意見がいくつも活発に出
たり、意見に困っている子に「A君、僕につ
いて来て！」と誘ったり。また伝言ゲームでは
「B君これでいい？」「うん」とテンポ良い
やりとりができるようになりました。9月に入
り自分の苦手なことや好きなことを共感し合
う活動でも意欲的に発言してくれ、少し遅
刻してまだ来ていない友達に対して「Cちゃん
が来ないとショックだな〜」と新しい仲間を
大切に感じている1年生達です。

③基礎学習の定着

学習のスタートがスムーズに行くように書
き順クイズやことば当てゲーム、謎解きプリ
ントのように楽しみながら学びのコツを身に
付けられるようにそれぞれのお子さんに合
わせた課題を行っています。学校が終わった
後の指導は肉体的にも大変なこともあるか
とは思いますが、半年を過ぎようとした今、
確実な成長を感じさせてくれています。

*小1プログラムとは……小学校に入学したばかり
の1年生が、集団行動がとれない、授業中に
座ってられない、先生の話听不懂、など
と学校生活になじめない状態が続くこと。

**中1ギャップとは……小学校から中学校に進学
した時に、学習内容や生活リズムの変化にな
じむことができず、いじめが増えたり不登校
になったりする現象。